

WEEKLY BULLETIN

会報 2016-2017

2月16日(木) 第29号
第2822回例会
第2510地区

●本日のロータリーソング それでこそロータリー

Rotary



ロータリー100年を振り返り、 奉仕の道を考える

青木 功喜 会員



【はじめに】

私は若いとき世界保健機構に出向してトラコーマワクチンの研究とエチオピアにおける野外実験に従事しましたので、ロータリーの小児麻痺に対するポリオワクチンの運動に対しては強い親近感があります。財団100周年特集として、財団の歴史(9/29)、使命(10/27)、RI、RFと札幌東RC(11/24)、課題(12/22)、ポリオ撲滅運動(1/26)を紹介いたしました。この口演ではセントルイス宣言が1923年の声明として手続き要覧に残った背景、ポリオ撲滅運動の歴史と奉仕の実践として寄付についてのべました。

【GPEIのポリオ撲滅計画】

Global Polio Eradication Initiative (GPEI)は野生ポリオウイルスの流行を減らすため第1段階として生ワクチンを無料で投与し、ポリオ患者を消滅させ、第2段階として副作用として起こるワクチンによるポリオ様麻痺の予防に不活化ワクチンを混合投与し、ポリオウイルスを減少させ、第3段階として不活化ワクチン単独投与によりウイルス根絶を確認しワクチンの中止を予定しています。

昭和29年からの62年間の生ワクチンの投与でポリオウイルス常在国は3か国になりましたが、半世紀近く続けられた生ワクチンの投与は新たな課題も生じました。ポリオウイルスは3つの型があり、地域により型が異なり、ワクチンによる麻痺は2型に多く、投与30年後にポリオポスト症候群が起こる事も判って来ました。

【RIのポリオ撲滅推進】

生ワクチンは多くの乳幼児に免疫力をつける事を目標にしており、費用対効果が悪く、莫大な費用を必要とします。また生ワクチンから不活化ワクチンへの移行には生ワクチンによる2次感染者をなくさなければいけません。平成22年の調査では流行地で180人、非流行地で567人合計767人の2次感染者が報告されています。そのウイルスの型は2型が400人と最も多く、以下1型、3型の順でした。また乳幼児期に感染し回復しても、神経細胞は40才頃になると衰え急激な疲労を感じるポストポリオ症候群(PPS)が起こります。PPSは不活化ワクチン導入前の生ワクチン投与で起こり、日本で4万人米国では25万人世界で800万人におります。不活化ワクチンを使用できる国はまだ限られており実態調査継続が叫ばれております。

【ポリオウイルスはいつ撲滅できるか】

生ワクチンを長年間使用している国では、下水に生ワクチン由来のウイルスを認め新たな課題となっております。またRNAウイルス

札幌東ロータリークラブ

本日のプログラム

これからの住いパッシブハウス

㈱今川建築設計監理事務所 代表取締役 今川 祐二 氏

のポリオウイルスは遺伝子の変異が起り、強毒株に変異するため、常に分離株における変異の有無の検査が必要です。ポリオはもはや大流行する都会の問題ではありません。多くの未開発国の僻地では、ポリオウイルスの根絶する時を予測する事は困難で、並行して貧困格差の解消を進める事が緊急の課題です。国際ロータリーは平成28年4月の規定審議会の決議16-118にてポリオ撲滅は国際ロータリーの最高の目標として承認しました。

【ロータリー財団の収支】

RIは教育プログラムから人道援助プログラムに大きく方針を変えております。開発途上国の会員が増えるに連れてこれらの国の要望に答え、近年RIの新事務総長は米国の未開発国援助公社から選任されました。

従来の毎年100ドルで、累計1000ドルでPHFに支えられていた財団奨学生プログラムに人道援助のポリオ撲滅のための100ドル寄付が追加され、寄付が拡大しています。このため従来の財団の教育プログラムと同じ趣旨の米山奨学金制度で他国の2倍の負担になっております。すなわちグローバルゼイションが進んでも各国の文化は消えません。

ロータリーは、RIと財団と言う車の両輪で運営され、RIが1、財団が3の割合の資金は、投資に廻され27%の投資収益を加えた4億ドルで、その72%はポリオ対策に使っております。現在の国際ロータリーの資産は、RIは1億ドル、財団は9億ドルです。年間1億ドルの資金が運営に必要なRIは、将来の赤字を防ぐために人頭分担金28ドルを今後3年間会員1人1ドルの値上げを行う事を昨年の規定審議会で決めました。一方撲滅まで53億ドルが必要と試算される財団はロータリアンの寄付以外にビルゲイズ財団や関連各国政府によって辛うじて支えられているのが現状です。

裏面にづく▶

マン
スリー
メ
モ

テーブルマスター

例会の各テーブルにはテーブルマスターが指名されています。主たる役割は、例会の短い時間の中でゲストや会員の皆さん方が、楽しく食事をし、語らい有意義に過ごして頂くための配慮をすることです。